

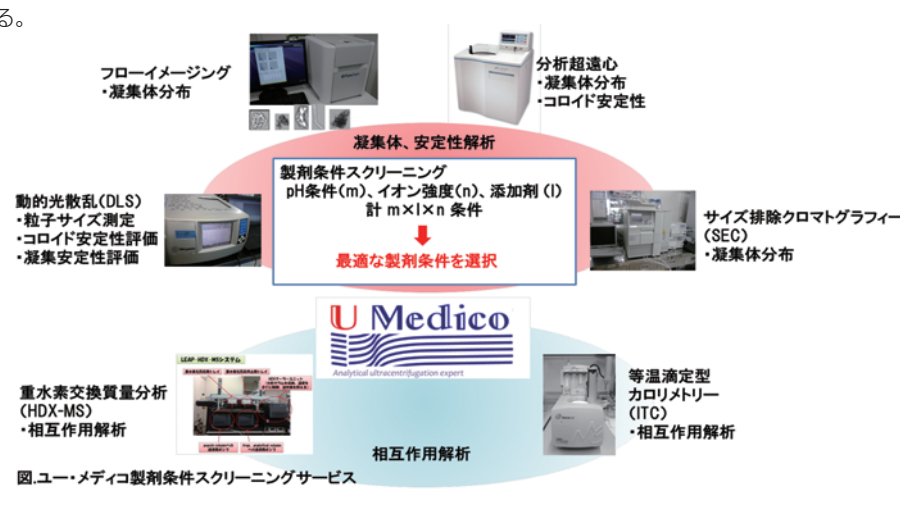
株式会社 ユー・メディコ

http://www.u-medico.co.jp/

所在地 大阪府大阪市北区梅田1丁目1番3号267号室 TEL 06-6347-1588
 代表者 代表取締役 竹西 壮一郎 創設年月日 2006年8月 資本金 500万円 従業員数 3人

事業内容

株式会社ユー・メディコは、大阪大学の教員が中心となり設立した会社であり、大阪大学で培った世界最先端のノウハウやテクノロジーを活用し、バイオ医薬品を含む生体高分子の物理化学的解析、ナノ粒子を含む合成化合物の溶液物性解析など研究・開発をトータルでサポートしている。特に製剤条件スクリーニングサービスでは、それらの技術を全て活用し、各バイオ医薬品に適した製剤条件を提供するサービスを展開している。バイオ医薬品の溶液中での安定性は、溶液のpH、イオン強度、さらに糖や界面活性剤の存在により制御されると考えられている。しかし、全てのバイオ医薬品を安定的に保存できる溶液は現段階では存在せず、実際の製剤化の過程では、これらの組み合わせを網羅的に探索し、最も安定的に保存しうる溶液条件を選択している。このサービスでは、様々な溶液条件において、タンパク質分子同士の会合傾向の指標となるコロイド安定性とタンパク質の構造安定性、また数種の条件下での安定性試験を、ハイスループットかつスモールスケールで行い、顧客の開発したバイオ医薬品に最も適した溶液条件を導き出すサービスとなっている。また、重水素交換質量分析(HDX-MS)や等温滴定型カロリメトリー(ITC)、分析超遠心の個別での受託分析も行っている。



知的財産活用事例

大阪大学発ベンチャーということで、大学において研究をしてきたバイオ医薬品関連の最先端技術を活かしたバイオ製剤の製剤品質評価、製剤安定性評価、製剤化条件探索等の情報提供やコンサルティング事業を行っている。当該事業においては、特許を出願するというよりも、ノウハウを活かした事業展開を行っている。そのため、そのノウハウを活かして、より優れた情報提供やコンサルティングを行うために、産学連携ということで、バイオ医薬品関連の最先端の技術について、大学の研究内容の把握及び研究者との意見交換などを積極的に行っている。

知的財産の創出や活用に関する取組

現状においては、バイオ製剤の製剤品質評価、製剤安定性評価、製剤化条件探索等の情報提供やコンサルティング事業に関して特定の顧客が存在するので、自社の知名度を上げる必要性は考えていないが、今後事業を拡大していく中で、自社の知名度を上げる1つの手段として、製剤条件探索方法や決定した製剤条件についての特許出願を行う予定である。また、外部人材の活用については、自社のみでは限界があるので行いたいと考えているが、専門性がかかなり高い分野なので、なかなか良い人材が見つからない。

起業を目指す人への知的財産に関するアドバイス

ベンチャー企業にとって、技術は重要であり、大学の技術を活用することをお勧めしたい。但し、技術が良くても成功しないので、成功するためには「知名度をあげること」と「資金調達」等が重要になってくる。